

Ⅱ－6 教育職員免許状(数学)の取得

教育職員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法に基づく次の条件を満たしていなければなりません。ただし、欠格要件のある者は授与されません。

- 1) 基礎資格である「学士の学位を有する」こと。(卒業)
- 2) 下記の教職資格(一種免許)取得に係る科目を修得していること。
 - ①教育職員免許法施行規則第66条の6に定められた科目の単位を修得していること。
 - ②同法に定められた「教科及び教科の指導法に関する科目」の単位を修得していること。
 - ③同法に定められた「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位を修得していること。
 - ④同法に定められた「大学が独自に設定する科目」の単位を修得していること。
 (本学部では、「教科及び教科の指導法に関する科目等」を修得する。)

本学部で資格を得ることができる免許状の種類は以下のとおりです。

学科	免許状の種類	教科
数理システム工学科	高等学校教諭一種免許状	数学

教員免許状取得のために必要な科目・単位数は以下のとおりです。

(1) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

科目区分	科目名	単位数	備考
教養展開科目	日本国憲法	2	必修
教養基礎科目	情報処理・データサイエンス演習	2	必修
	英語コミュニケーション	2	必修
	健康体育実技Ⅰ	1	これら2科目より1科目選択必修
	健康体育実技Ⅱ	1	
	健康体育演習	1	必修

(2) 教科及び教科の指導法に関する科目

【数学】

免許法に定める 科目区分	科目名等	単位数	備考	
教科に関する 専門的事項	代数学	○代数学概論	2	
		○線形代数学Ⅱ	2	
		○数理計画	2	
		離散最適化	2	
	幾何学	○幾何学概論	2	
		○線形代数学Ⅰおよび演習	3	
		○システム基礎数学	2	
		グラフ理論	2	
	解析学	○微分積分学Ⅰ	2	
		○微分積分学Ⅱおよび演習	3	
		○応用数学Ⅱ	2	
		応用数学Ⅲ	2	
		応用数学Ⅳ	2	
		モデリングⅡ	2	
	「確率論、 統計学」	○確率統計	2	
		○シミュレーション技法Ⅰ	2	
		オペレーションズ・リサーチ	2	
	コンピュータ	○プログラミング入門	2	
		プログラミング	4	
		情報科学入門	2	
		数値計算法Ⅰ	2	
		○データ構造とアルゴリズム	2	
		数値計算法Ⅱ	2	
		コンピュータネットワーク	2	
		コンピュータアーキテクチャ	2	
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の 活用を含む。)	○(中等)数学科教育法Ⅲ	2	2年次に集中講義で開講予定
		○(中等)数学科教育法Ⅳ	2	

注1) 上記科目区分から合計36単位以上を修得すること。

注2) ○印のある科目は、必ず修得すること。

注3) その他、単位の修得等に不明点がある場合は工学部教務係へ相談してください。

(3) 教育の基礎的理解に関する科目等

免許法に定める 科目区分	科目名	単位数
		数学
教育の基礎的理解に 関する科目	(中等)教育の原理	2
	(中等)教職入門	2
	(中等)教育と社会	2
	(中等)発達と学習	2
	特別の支援を必要とする子どもの理解	1
	教育課程論	1
道徳、総合的な学習の時間等の 指導法及び生徒指導、 教育相談等に関する科目	総合的な学習の指導法・特別活動論	2
	教育方法論	1
	教育とICT活用	1
	生徒指導・進路指導	2
	教育相談	2
教職実践に関する科目	教育実習	2
	教育実習事前・事後指導	1
	教職実践演習(中・高)	2

教育職員免許状取得に関する注意事項

(1) <教科及び教科の指導法に関する科目>のうち「(中等)数学科教育法Ⅲ」、「(中等)数学科教育法Ⅳ」の単位は卒業所要単位数に算入できない。

(2) <教育の基礎的理解に関する科目等>のうち「(中等)教育の原理」及び「(中等)発達と学習」の単位は卒業所要単位数に算入できる。それ以外の科目は卒業所要単位数に算入できない。

(3) 「教育実習」を受講するためには、履修する年度の4月時点において次の要件を満たしていること。
 (『教育学部以外の教育実習の受講資格に関する申合せ』より)

- ・教員採用試験を受験する強い意志。
- ・教員免許状取得に必要な教養科目(日本国憲法、健康体育実技Ⅰまたは健康体育実技Ⅱ、健康体育演習、英語コミュニケーション、情報処理・データサイエンス演習)8単位のうち、5単位以上を修得済み。
- ・<教育の基礎的理解に関する科目>及び<道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目>から、「(中等)教職入門」の2単位を含む12単位以上を修得済み。
- ・「教育実習事前・事後指導」のうち事前指導を履修済み。
- ・卒業研究履修資格を取得済み。
- ・数学:「(中等)数学科教育法Ⅲ」、「(中等)数学科教育法Ⅳ」の4単位を取得済み(又は修得予定)。
- ・麻疹の予防接種、健康診断を受診済み。
- ・学研災付帯賠償責任保険へ加入済み。

数理システム工学科の授業科目名(専門)一覧表

科目名	単位	必・選		1年		2年		3年		4年		備考
		A	B	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
線形代数学Ⅰおよび演習	3	◎	◎	4								理系基礎
微分積分学Ⅰ	2	◎	◎	2								理系基礎
力学・波動Ⅰ	2	◎	◎	2								理系基礎
工学基礎化学Ⅰ	2	◎	◎	2								理系基礎
システム工学概論	2	◎	◎	2								
プログラミング入門	2	◎	◎	2								
コンピュータ入門	1	◎	◎	1								
システム基礎数学	2			2								
微分積分学Ⅱおよび演習	3	◎	◎		4							理系基礎
線形代数学Ⅱ	2	◎	◎		2							理系基礎
力学・波動Ⅱ	2	◎	◎		2							理系基礎
工学基礎化学Ⅱ	2	◎	◎		2							理系基礎
プログラミング	4	◎	◎		4							
機械工学概論	2	○	○		2							他学科概論 左記4科目の うち、2単位ま でを卒業単位 として認める
電気電子工学概論	2	○	○		2							
電子物質科学概論	2	○	○		2							
化学バイオ工学概論	2	○	○		2							
確率統計	2				2							
情報科学入門	2				2							
物理・化学実験	1	◎	◎			3						理系基礎
熱統計力学	2	◎	-			2						理系基礎
生物学Ⅰ	2	-	◎			2						理系基礎
応用数学Ⅰ	2	◎	◎			2						
モデリングⅠ	2	◎	◎			2						
環境システム工学	2	◎	◎			2						
応用数学Ⅱ	2					2						
データ構造とアルゴリズム	2					2						
シミュレーション技法Ⅰ	2					2						
数理計画	2					2						
グラフ理論	2					2						
電磁気学	2	◎	-				2					理系基礎
生物学Ⅱ	2	-	◎				2					理系基礎
プログラムコンテスト	2	◎	◎				4					
応用数学Ⅲ	2						2					
応用数学Ⅳ	2						2					
モデリングⅡ	2						2					
離散最適化	2						2					
オペレーションズ・リサーチ	2						2					

科目名	単位	必・選		1年		2年		3年		4年		備考
		A	B	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
システム工学応用実習Ⅰ	2	◎	◎					4				
技術者倫理	1	◎	◎					1				
数値計算法Ⅰ	2							2				
社会システム工学	2							集中				
コンピュータネットワーク	2							2				
シミュレーション技法Ⅱ	2							2				
環境適合設計	2							2				
代数学概論	2							2				
システム工学応用実習Ⅱ	2	◎	◎						4			
システム工学セミナー入門	1	◎	◎						2			
数値計算法Ⅱ	2								2			
計算システム工学	2								2			
コンピュータアーキテクチャ	2								2			
複雑系モデル	2								2			
幾何学概論	2								2			
リスク分析	2								2			
インターンシップ	1							※	※			
システム工学セミナー	2	◎	◎							2	2	
卒業研究	5	◎	◎							*	*	
情報理論	2									2		情報乗入
ソフトウェア品質管理	2									2		情報乗入
多変量解析	2									2		情報乗入
社会モデル	2										2	情報乗入
オートマトンと言語理論	2									2		情報乗入
符号理論	2										2	情報乗入
プロジェクトマネジメント	2									2		情報乗入
安全工学	2									2		
経営システム工学	2									2		

注1. 開講時期は変更することがある。
 注2. *は講義等のない時間はすべて卒業研究に充てることを示す。
 注3. インターンシップ（※印）は原則として夏休み等を実施する。

理系基礎科目、数理システム工学科の専門必修科目および選択科目の関連図を次ページに示します。

この関連図は、「授業科目名（専門）一覧表」では明らかでない専門科目間の結び付き（科目間での履修上の順序関係）を矢印→で示しています。例えば、科目Aの履修が科目Bの授業内容の理解に役立つ場合、「科目A→科目B」と表記しています